

1 目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な学習活動を通して、よりよい生活の実現に向けて工夫する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 **(育成を目指す資質、能力)**

- (1) 家族・家庭の機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境等についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。 **(知識・技能)**
- (2) 家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。 **(思考力・判断力・表現力等)**
- (3) 家族や地域の人々との関わりを考え、家族の一員として、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。 **(学びに向かう力、人間性等)**

(1) 改訂の要点

- ① 従前の「明るく豊かな家庭生活を営む上に必要な能力を高め、実践的な態度を育てる。」を改め、「生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な学習活動を通して、よりよい生活の実現に向けて生活を工夫する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。」として、三つの柱から整理し示している。

(2) 目標の柱書部分について

- ① 「生活の営みに係る見方・考え方を働かせ」とは、家庭科が学習対象としている家族や家庭、衣食住、消費や環境などに係る生活事象を、協力・協働、健康・快適・安全、生活文化の継承・創造、持続可能な社会の構築等の視点で捉え、生涯にわたって、自立し共に生きる生活を創造できるよう、よりよい生活を営むために工夫することを示したものである。
- ② 「衣食住などに関する実践的・体験的な学習活動を通して」とは、生活を営む上で必要な「A家族・家庭生活」、「B衣食住の生活」、「C消費生活・環境」の三つの内容について、理論のみの学習に終わることなく、調理、製作等の実習や観察、調査、実験などの実践的・体験的な活動を通して学習することにより、習得した知識及び技能を生徒自らの生活に生かすことを意図している。
- ③ 「よりよい生活の実現に向けて工夫する資質・能力」とは、家庭科の学習で育成を目指す資質・能力であり、生涯にわたって健康で豊かな生活を送るための自立の基礎として必要なものについて示したものである。

(3) 各段階の目標について

< 1 段階 >

- ア 家族・家庭の機能について理解し、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境等についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。 **(知識及び技能)**
- イ 家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。 **(思考力、判断力、表現力等)**
- ウ 家族や地域の人々との関わりを通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。 **(学びに向かう力、人間性等)**

< 2 段階 >

- ア 家族・家庭の機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境等についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。 **(知識及び技能)**
- イ 家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。 **(思考力、判断力、表現力等)**
- ウ 家族や地域の人々との関わりを通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。 **(学びに向かう力、人間性等)**

各段階において育成を目指す資質・能力を「ア知識及び技能」「イ思考力、判断力、表現力等」「ウ学びに向かう力、人間性等」の三つの柱に沿って示している。

1 段階アでは、教科の目標に示したとおり、家族・家庭の機能や、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境等についての基礎的な理解を図り、また、それらに係る技能を身に付けることを示

している。

イでは、教科の目標に示したとおり、生活の中から見いだした課題を解決する力を養うことを示している。

ウでは、教科の目標に示したとおり、家庭科で身に付けた力を家庭、地域から最終的に社会の中で生かし、社会を生き抜く力としていくことを示している。

2段階アでは、1段階での学習を踏まえ、家族・家庭の機能について理解を深めていくことを示している。

イ及びウでは、1段階での学習を踏まえ、2段階の内容の学習を通し、それぞれの資質・能力を更に高めていくことを目指すものである。

2 内容

(1) 内容の構成

「A家族・家庭生活」、「B衣食住の生活」、「C消費生活・環境」とする内容構成に改めた。

(2) 改訂の要点

従前の「家庭の役割」、「消費と余暇」、「道具・器具等の取扱いや安全・衛生」、「家庭生活に関する事項」及び「保育・家庭看護」を改め、「A家族・家庭生活」、「B衣食住の生活」、「C消費生活・環境」の三つの構成としている。

また、これらは、二つの段階により示している。2段階においては、1段階を踏まえて発展的な学習内容を示しているが、「B衣食住の生活」の「ア食事の役割」及び「ウ衣服の選択」は1段階のみの設定、「B衣食住の生活」における「ア必要な栄養を満たす食事」及び「ウ衣服の手入れ」は2段階のみの設定としている。

3 指導計画の作成と内容の取扱いについて

(1) 指導計画作成上の配慮事項

家庭科の指導計画の作成に当たり、生徒の主体的・対話的で深い学びの実現を目指した授業改善を進めることとし、家庭科の特質に応じて、効果的な学習が展開できるように配慮すべき内容を示したものである。

選挙権年齢や成年年齢の引下げなど、高校生にとって政治や社会が一層身近なものとなる中、学習内容を人生や社会の在り方と結び付けて深く理解し、これからの時代に求められる資質・能力を身に付け、生涯にわたって能動的に学び続けることができるようにするためには、これまでの学校教育の蓄積も生かしながら、学習の質を一層高める授業改善の取組を活性化していくことが求められている。

- ① (1)「知識及び技能」が習得されること、(2)「思考力、判断力、表現力等」を育成すること、(3)「学びに向かう力、人間性等」を涵養することが偏りなく実現されるよう、題材など内容や時間のまとまりを見通しながら、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を行うことが重要である。
- ② 主体的・対話的で深い学びは、必ずしも1単位時間の授業の中ですべてが実現されるものではない。題材など内容や時間のまとまりの中で、例えば、主体的に学習に取り組めるよう学習の見通しを立てたり、学習したことを振り返ったりして自身の学びや変容を自覚できる場面をどこに設定するか、対話によって自分の考えなどを広げたり、深めたりする場面をどこに設定するか、学びの深まりをつくり出すために、生徒が考える場面と教師が教える場面をどのように組み立てるか、といった視点で授業改善を進めることが求められる。
- ③ 「深い学び」の視点に関して、各教科等の学びの深まりの鍵となるのが「見方・考え方」である。各教科等の特質に応じた物事を捉える視点や考え方である「見方・考え方」を、習得・活用・探究という学びの過程の中で働かせることを通じて、より質の高い深い学びにつなげることが重要である。

(2) 内容の取扱いと指導上の配慮事項

- ① 国語科で培った能力を基本に、知的活動の基盤という言葉の役割の観点から、実習等の結果を整理し考察するといった学習活動を充実する必要がある。
- ② 家庭科の特質を踏まえ、生活における課題を解決するために、言葉だけでなく、設計図や献立表といった図表及び衣食住に関する概念などを用いて考えたり、説明したりするなどの学習活動も充実する必要がある。
- ③ 主体的・対話的で深い学びを実現するためには、コンピュータや情報通信ネットワークを、生徒の思考の過程や結果を可視化したり、大勢の考えを瞬時に共有化したり、情報を収集し編集することを繰り返して行い試行錯誤したりするなどの学習場面において、積極的に活用する。
- ④ 生活や社会の中から問題を見いだして課題を解決する活動の中で、課題の設定や解決策の具体化のために、情報通信ネットワークを活用して情報を収集・整理したり、実践の結果をコンピュータを用いて分かりやすく編集し、発表したりするなどの工夫が必要である。
- ⑤ 生徒一人一人の興味・関心を踏まえた学習課題が設定され、個に応じた指導が必要となる。そのため、学習課題の解決に必要な技能の習得状況を把握し、必要に応じて少人数指導や教材・教具を工夫することで、生徒が自ら設定した課題の解決策を実現できるよう配慮すること。
- ⑥ 生徒の発達の段階によっては、問題を見いだしたり、課題を設定したりすることが困難な場合も考えられる。そのため、他教科で関連する内容の学習状況、題材の内容を踏まえた上で、生徒一人一人が興味・関心を踏まえた学習課題を設定できるよう、発達の段階に応じて、問題を見いだす範囲を生徒の生活範囲から社会に徐々に広げていくなど題材計画を工夫する必要がある。
- ⑦ 家庭生活における情報機器の取扱いについても関連させて指導することが大切である。

(3) 実習の指導

- ① 実習室等の環境の整備と管理については、安全管理だけの問題ではなく、学習環境の整った実習室そのものが、生徒の内発的な学習意欲を高める効果があることに留意する。